

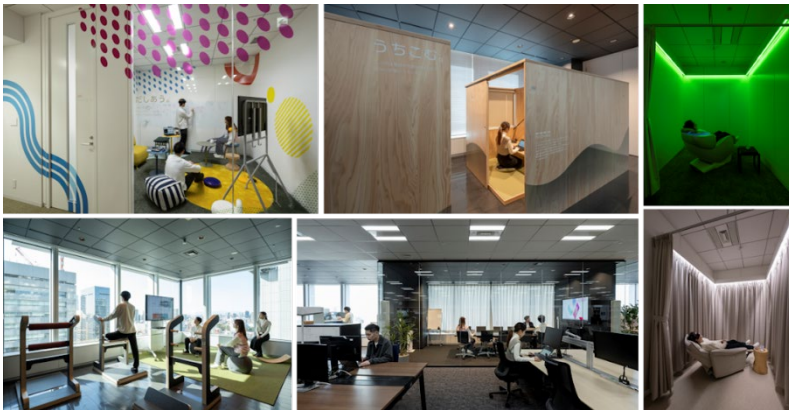
報道関係者各位

2026 年 4 月 15 日

## 丹青社、品川本社が「WELL 認証 (v2)」最高ランクのプラチナを取得

～国内最多タイの認定と日本初のニューロインクルージョンでの加点で取得を実現～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林 統／以下、丹青社）は、品川本社において、人々の健康とウェルビーイングに焦点を当てた建築物の国際的な評価システム「WELL Building Standard™（以下、WELL 認証）」のバージョン 2（v2）における最高ランク「プラチナ」を取得いたしました。取得項目は国内最多タイ（※1）となる 6 項目の「イノベーション」に認定され、2025 年に WELL 認証に新設された「ニューロインクルージョン（多感覚デザイン）」（※2）項目で日本初（※1）となる加点を獲得いたしました。



### ■ 認証取得の背景：ウェルビーイングと「自社らしい働く場」の実践

丹青社グループは、従業員の多彩な個性と創造力が最も重要な経営資源であると捉えています。従業員一人ひとりが心身ともに満たされ、働きがいや「仕事の楽しさ」を実感できる環境こそが、健全な成長の土台となります。2025 年 8 月に策定した「ウェルビーイング経営方針」の実現に向けた象徴的な取り組みとして、世界基準の健康空間評価である WELL 認証の取得を実践いたしました。同時に、空間づくりのプロフェッショナルであり、空間と自分自身の可能性を切り拓くチャレンジ集団でもあり続ける企業姿勢を、「ディスプレイ業界初の WELL 認証プラチナランク取得」および新たな認証項目やイノベーション項目への取り組みを通じて表現しています。

※1：2026 年 4 月 8 日時点で公表されている内容

パナソニック エレクトリックワークス株式会社が WELL 認証取得コンサルティングを行った案件の実績に基づく

※2：個人の脳や神経の発達・機能の違い（ニューロダイバーシティ）を個性として尊重し、その違いを活かしてともに働く社会を目指すという考え方

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸、立入

Tel：03-6455-8115 Mail：[pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp)


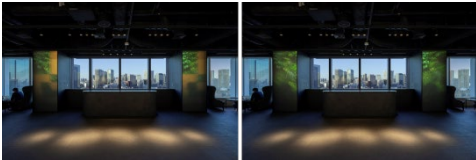



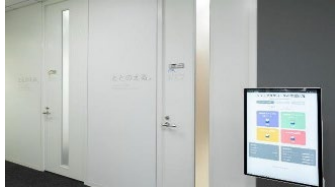
■ コンセプト：『layering colors』～多彩な「いろ」を重ね合わせ、常に進化し続ける～

本プロジェクトでは、丹青社が掲げるパーパス「空間から未来を描き、人と社会に丹青（いろどり）を。」に基づき、ニューロインクルージョンの考えをもとに個人が自由に選択できる環境を整備しています。従業員に寄り添ってきたこれまでのオフィスを全面改装で刷新するのではなく、音環境の改善や、休息エリアや運動エリアの充足など、閉鎖を伴わない部分的な改装で、国内トップクラスの 96 点での認証取得を実現しました。単に新しいものを取り入れるだけでなく、これまでに培ってきた風土に新たな価値観という「いろ」を重ね合わせ、生産性の向上と「働く幸せ」を両立することで、企業としてさらなる進化を目指してまいります。

■ 本プロジェクトの代表的な取り組み

本プロジェクトでは、従来より取り組んでいる共創活動、ソリューション開発をベースとして、国内最多となる 6 つの「イノベーション」項目で認定を受けています。さらに国内では初となる「ニューロインクルージョン」に関する項目での加点を獲得しています。

<認定されたイノベーション項目> ※項目の詳細は別紙をご参照ください。

<p>従業員参加型ウォールアート</p> 	<p>生成 AI を用いた物理的な改装を伴わないデジタル・リノベーション</p> 	<p>コミュニケーションとマインドフルネスを目指す木材インсталレーション</p> 
<p>インタラクティブ映像閲覧を通じた組織文化へのインクルーシブなアクセス</p> 	<p>AI ナレッジ共有システムによる心理的安全性の向上とコミュニティ形成</p> 	<p>赤外線センサーを活用した休息スペースの利用促進</p> 

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸、立入

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

<ニューロインクルージョンのためのスペース構築におけるデザインの特徴>

刺激を抑える「低刺激」と刺激を足す「高刺激」のスペースを設け、作業環境（執務・会議エリア）と非作業環境（休息エリア）で提供しています。

<p>「低刺激」×「作業」</p> <p>暖かみのある木材や畳を活用した集中ブース</p> 	<p>「高刺激」×「作業」</p> <p>色彩豊かなグラフィックや多様な什器（チェアなど）があふれるプレストルーム</p> 
<p>「低刺激」×「非作業」</p> <p>落ち着いた色や素材、柔らかな間接照明など刺激を抑えたリラク্সルーム</p> 	<p>「高刺激」×「非作業」</p> <p>彩度の高いカラフルな照明演出やマッサージチェアなど、刺激を選べるリラク্সルーム</p> 

■本プロジェクトにおけるサステナビリティへの取り組み

本プロジェクトにおいては小径木を高付加価値建材に再生する共創プロジェクト「（仮称）シンゴハン」(※3)の木材活用やワークウェアをアップサイクルしたデスクトップパネルの制作や、空間づくりを通じたカーボンニュートラルの実現に向けて、排出されるCO<sub>2</sub>(約90t)(※4)のカーボン・オフセットを実施します。

※3：Tree to Green、ソルトターミナル、竹中工務店、当社の4社で、木曾地域の森林資源を活用した循環型経済の構築を目指す「木曾森林ランドサイクル構想」の中核事業として、合板製造・内装材加工に取り組むプロジェクト。

参考 URL ([https://www.tanseisha.co.jp/resource/Tanseisha\\_NewsRelease\\_250925\\_shingohan\\_project.pdf](https://www.tanseisha.co.jp/resource/Tanseisha_NewsRelease_250925_shingohan_project.pdf))

※4：算出範囲は改装に際して調達した製品の原材料～製造段階および運搬にかかる排出を考慮。排出量算定はサプライヤーからの提供値と、自社算定結果に基づいて算定。自社算定においては、原単位データベースとしてIDEAを使用。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸、立入

Tel：03-6455-8115 Mail：[pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp)

## ■ 『layering colors』の社会実装に向けて：空間構築ノウハウの展開

当社は本プロジェクトで得た、WELL 認証取得をはじめとするウェルビーイングな働く場、働き方の実現やニューロインクルージョンやサステナビリティへの取り組みなど、自社オフィスでの実践をモデルケースとし、多彩な個性を持つ人々が共に輝ける社会の実現に向け、戦略・企画から運営改善までを含めたトータルソリューションの実装を推進してまいります。なお、本プロジェクトの取り組みを紹介する機会として、当社主催のウェビナーおよびオフィスツアーを開催いたします。

### <ウェビナー詳細>

『ウェルビーイング × オフィス~小規模改装で実現する「WELL 認証プラチナ」取得とその効果~』

開催日時：2026年5月19日（火）16:00~17:00

会場：完全オンライン（参加無料）

お申込み方法：下記ウェブページより事前申し込み（締め切り：5月18日（月））

<https://web.tanseisha.co.jp/public/seminar/view/12079>

### <丹青社品川本社 オフィスツアーについて>

5月中旬よりご案内予定です。詳細はウェブページをご覧ください。

<https://web.tanseisha.co.jp/public/seminar/view/12113>

※ウェビナー・ツアーともに、フリーメールやキャリアメール、同業他社様の参加はご遠慮いただいております。

### <本プロジェクトに関する関連記事>

[https://batohito.tanseisha.co.jp/workplace/well-being\\_well\\_platinum](https://batohito.tanseisha.co.jp/workplace/well-being_well_platinum)

## ■WELLv2 取得支援先：株式会社 point0、パナソニック エレクトリックワークス株式会社

### ■丹青社について

「こころを動かす空間づくりのプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。



### ・本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社丹青社 広報室 担当:石綿、寺戸、立入 Mail: [pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp) Tel: 03-6455-8115

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸、立入

Tel：03-6455-8115 Mail：[pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp)

## 【別紙】 認定されたイノベーション項目の詳細

<p>従業員参加型ウォールアート</p> 	<p>エントランスエリアでは「丹青社のバリューを可視化する」ことをテーマに、従業員参加型でロゴをモチーフとしたウォールアートを制作。制作過程で出るアートのかげらで作成したステッカーを社員へ配布し、コミュニケーションや従業員エンゲージメント向上に取り組んでいます。</p>
<p>生成 AI を用いた物理的な改装を伴わないデジタル・リノベーション</p> 	<p>映像演出を動的に変化させ、空間の印象を変化させる取り組みを行っています。映像演出では、内装材と自然をモチーフとしながら、生成 AI を活用することで、現実では起こりえない予測不能な変化をもたらしています。(ダイキン工業株式会社、株式会社 point0 との協業による実証の取り組み)</p>
<p>コミュニケーションとマインドフルネスを目指す木材インスタレーション</p> 	<p>デザインされたパーツを自由に組み替えることができる木材インスタレーションを通じ、複数人でのコミュニケーションやモードチェンジを提供する取り組み。インスタレーションの素材を当社が取り組む木曽地域での小径木を高付加価値建材に再生する共創プロジェクト「(仮称) シンゴーハン」の木材を活用することで、自社の取り組みへの意識醸成も目指しています。</p>
<p>AI ナレッジ共有システムによる心理的安全性の向上とコミュニティ形成</p> 	<p>当社が開発した AI を活用したナレッジマネジメントシステム「saguroot」を通じ、膨大な企画書や資料の探索の時間を削減するとともに、優れた企画書などを作成した人材の紹介など、ナレッジを起点とした従業員同士のつながりやコミュニティ形成を支援します。</p>
<p>インタラクティブ映像閲覧を通じた組織文化へのインクルーシブなアクセス</p> 	<p>当社と株式会社 WACC (旧：株式会社 Nsystem) との共創により開発された情報閲覧とプレゼンテーションを支援するデータベースおよびアプリケーション群「visualtiles®」を活用して企業の歴史や文化、価値観を直感的に理解できる形で提示することで、利用者は組織への理解を深め、帰属意識や誇りの醸成、モチベーション向上につながります。</p>
<p>赤外線センサーを活用した休息スペースの利用促進</p> 	<p>ウェルビーイングにおいて重要な「休息のためのスペース」では、従業員は「仕事をしてないと思われたくない」といった懸念から利用が進まないケースが見られます。そのため、赤外線センサーを活用した「COCOSTAT」を用い、個人を特定せずに離れた場所からでも利用状況を確認できるようにすることで、安心して休息スペースを利用できる組織文化の醸成を目指しています。</p>